

第28期第10回常任理事会議事録

日時：1995年7月18日 13時30分～16時20分

場所：気象庁内日本気象学会事務局

出席者：松野，関口，大西，斉藤，里村，竹内，田中，
永田，中村，白木，新田以上11名

議事：

1. 第28期第9回常任理事会議事録の確認
一部修正のうえ承認。
2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…後援名義等使用申請1件を常任理事会として承認。

第10回「大学と科学」公開シンポジウム後援（同組織委員会主催，95年10月，東京都千代田区）

- ・第14回風工学シンポジウム運営委員に内藤玄一会員（防衛大学校）を推薦。
- ・学術会議の地球化学・宇宙化学研究連絡会から文部省科学研究費補助金審査委員候補の推薦依頼があった件につき，小川利紘会員（東京大学理学部）を気象学会から推薦することを常任理事会として承認。
- ・秋季大会予稿集印刷はユニバーサル・アカデミー・プレス（UAP）が落札。
- ・日本地学教育学会から呼びかけのあった「地学関連学会間連絡協議会（仮称）」の設立について，前回常任理事会決定にしたがい「参加する」と回答した。

会計…95年6月の収支状況を報告。通常会員の会費納入はほぼ完了した。収支とも順調に推移。

天気…7月号の内容及び8，9，10月号の予定を報告。

- ・編集書記の交代を9月に予定。現在，後任者の研修中。

気象集誌…8月号を印刷中。

- ・集誌の編集等を ELSEVIER に移管する件で，編集委員会でも議論した。8月の編集委員会に ELSEVIER の日本担当者に来てもらい，説明を受ける予定。秋季大会初日（10月16日）の夕方に一般会員を含めたこの件に関する意見交換会を行うための会場を関西支部の協力で確保したことを庶務担当理事が報告。

研究ノート…「乾燥地の自然環境」は2校中で7月

に発行予定。秋から年度末にかけて何冊かを発行する予定で原稿執筆中。

- ・LaTEXでの原稿作成につき，これに詳しい編集委員に検討を依頼した。秋には編集委員会に報告をあげてもらう予定。

教育と普及…夏季大学の申し込みは締め切り1か月前に定員に達し，その後の申し込みは断っている。気象に対する一般の人の興味が高まっているためと思われる。100名規模の会場では希望に応えられないので，来年からはもっと広い会場で開催することを検討したい。

- ・「教養の気象学」について，価格や構成等についての書店側の意見も聞き，2分冊にはしないことにした。すべてを網羅することはせず，項目を絞る。次回（9月6日）の委員会

各賞…理事会の決定を受けて「学会外各賞推薦委員会」を6月19日に開催し，対応方針と推薦者の選考の選考を行った。当委員会で推薦を行うのは，気象学会やその代表者に対して推薦依頼が来ているものに限ることにし，日産科学賞，朝日賞，井上學術賞，東レ科学技術賞の4賞について各賞の性格にあった候補者それぞれ1名を選考し，理事長に報告。常任理事会としてこの報告を了承。『天気』7月号に日産，井上，東レの各賞の推薦公募記事が掲載されることとの整合性についての指摘があり，委員会が推薦した候補者を「第一次候補」とし，一般からも推薦があった場合には推薦委員会で見直しして最終的な候補者を1名に絞ることとした。来年からは『天気』での公募の後に推薦委員会で議論することにした。また，猿橋賞も委員会で見直ししてはどうかとの意見が出され，推薦する方向で再度検討することとした。

3. 会員の新規加入等について

個人11名，団体1の入会を承認。個人2名の退会を報告。

4. 堀内基金奨励賞受賞候補者について

6月30日付けで同賞候補者推薦委員会（田中浩理事担当）から1名が推薦された。推薦理由書の一部について常任理事会で修正意見があり，修正するか

どうかについて田中理事の判断を求めたうえ、全理事の可否投票にかけることとする。

5. 奨励金受領候補者について

7月14日付で奨励金受領候補者推薦委員会(原田朗理事担当)から4名が推薦された。推薦のあった6名から4名に絞った経過等が副担当の中村理事から報告され、推薦理由書の一部を訂正したうえ、全理事の可否投票にかけることとした。

なお、学会役員交代時期が従来よりも早まったため、奨励金受領候補者の推薦締め切りを2月に、理事長への報告を4月に早めたいとの希望が推薦委員会から出され、常任理事会としてこれを了承。

6. 山本・正野論文賞候補者投票結果について

候補者2名について全理事による可否投票を行ったところ、決定に必要な理事総数の4分の3以上である25名の理事から投票があり、有効投票数の3分の2以上から承認されたため、本年度の山本・正野論文賞受賞者と対象論文は以下のとおりに決定。

森本真司会員(国立極地研究所)

Time and space variations of the carbon isotopic ratio of tropospheric carbon dioxide over Japan. (Tellus, 1993)

小池 真会員(名古屋大学太陽地球環境研究所)

Impact of Pinatubo aerosoles on the partitioning between NO₂ and HNO₃. (Geophys. Res. Lett., 1994)

7. 名誉会員の推薦について

推薦に関わる手順や基準案について、関口、大西、木田理事に、もう1名を加えた検討委員会を設置することを常任理事会として了承。もう1名の検討委員の候補者についても了承されたため、庶務担当理事が依頼することとする。次回常任理事会に検討結果を報告できるように作業を進める。

8. 「気象科学事典」の編集体制について

編集委員長に小倉義光理事をあてることを常任理事会として了承。数名の編集委員候補についても意見が出されたのを受け、小倉編集委員長と庶務担当理事で編集委員を選任し、常任理事会に報告して了承を求めることとする。

9. 京都大学防災研究所の改組について

防災研究所長から気象学会理事長に標記についての予算要求のために気象学会の支持がほしい旨の依頼があり、理事長が作成したサポート文書案について全理事にFAXで意見照会を行った。19名の理事から回答があり、気象学会としてサポートすることについて賛成が得られた。文案についての理事からの意見を斟酌したうえ、最終文書については理事長に一任することを常任理事会として確認。

大気海洋陸面相互作用研究会のお知らせ

○日 時：1995年

10月14日(土) 14時00分～17時30分

10月15日(日) 9時30分～12時00分

○場 所：神戸商船大学 大学会館

3階 大集会室

(阪神電鉄線深江駅下車徒歩5分)

○担 当：海事システム科学海洋研究室

○内 容：TOGA-COARE研究成果を中心に
発表の予定

○発表・参加申し込み：

気象研究所応用研究部 高藪 出

〒305つくば市長峰1-1気象研究所

TEL.0298-53-8620FAX0298-55-7240

e-mail : takayabu@mri-jma-go-jp